

(様式 3 : 全対象事業共通)

平成 30 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	桔梗原地区小水力発電事業	
補助事業者名	新潟県十日町市	
補助事業の概要	既設の農業用水を活用した水力発電の事業化に向け、測量調査、発電規模の検討、経済性評価などの結果から、発電事業の実現可能性を検討する。	
総事業費	16,448,400円	
補助金充当額	16,448,400円	
定量的目標	事業実施の可能性	
補助事業の成果及び評価	<p>年間通して安定した流量確保と水利用が可能であり、落差を最大限活用するため、新たに発電用水圧管路（Φ600mm）を約 1.6km 設置する小水力発電の検討を行った。</p> <p>最大使用水量はかんがい用水の期別最大取水量である 0.6m³/s、有効落差は 24.1m となり、得られる年間の発電電力量は 924MWh（出力 111kW）となった。</p> <p>しかし水圧管路整備のほか、水車価格が約 2 億円と高額であること、当市は特別豪雪地域に指定されており耐雪を考慮した発電所建屋が必要なことなどから、建設コスト（541 円/kWh）が課題となった。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	水力発電を検討するノウハウを有する事業者への外注により実施するもの。
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	(株)新日本コンサルタント新潟営業所
	契約金額（間接補助金額）	16,448,400円
来年度以降の事業見通し	今後は事業費縮減や他の施設整備補助事業の活用の検討を進めていく。	

(備考)

- (1) 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- (2) 補助事業の成果及び評価の欄には、(1) で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量

的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。

- (3) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- (4) 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。